

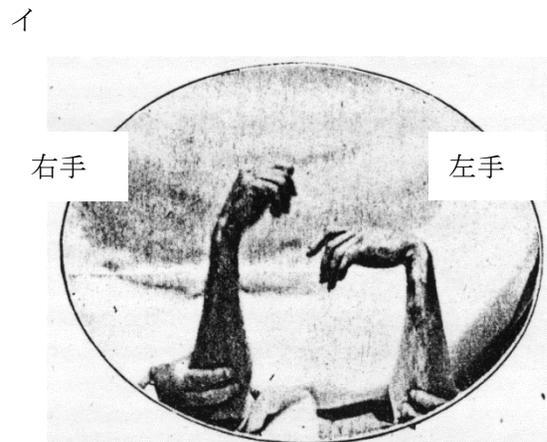
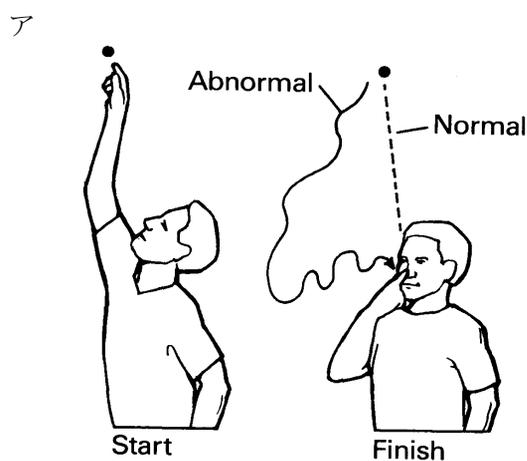
1. (M76) 小脳の神経構成と機能に関連した記述で正しいものはどれか。すべてマークせよ。

- a 小脳は脳全体の神経細胞の約 10% を占める。
- b 小脳には第一裂を境とする解剖学的違いから、前葉と後葉とに区分できる。
- c 小脳皮質は虫部、中間部、外側部からなる縦帯構造をなし、外側部は脊髄小脳路からの入力を受ける。
- d 小脳片葉・小節葉は、平衡感覚器からの入力を受け、前庭小脳と呼ばれている。
- e 第IX小葉付近の体部位再現 (入力) については、顔の領域である。

2. (M77) 小脳の神経回路に関わる記述で正しいものはどれか。すべてマークせよ。

- a. 小脳皮質の神経細胞は、バスケット細胞、顆粒細胞、星状細胞、ゴルジ細胞、プルキンエ細胞の 5 種類の神経細胞から構成されている。
- b. 小脳皮質は 6 層構造からなる。
- c. 小脳皮質の唯一の出力系はプルキンエ細胞からの出力であり、小脳下核へは抑制性の神経結合をもつ。
- d. 小脳皮質への入力は登上線維と苔状線維からなる。そのうち登上線維は、顆粒細胞を経てプルキンエ細胞に入力する興奮性の神経結合をもつ。
- e. 小脳皮質の虫部の出力先は、白質内に存在する外側核 (小脳下核のひとつ) である。

3. 図アとイの小脳症状について答えよ。



A. (記述問題) 図アの小脳症状 (運動障害) は、何と呼ばれているか。下線部に記述せよ。

B. (M78) 図アの症状に関連する指先のふるえは、運動時だけではなく、力を入れず手を膝の上に置いた場合でも生じるか。手を膝の上に置いても生じる場合は a、生じない場合は b、両方 (運動時と手を膝の上に置いた場合) の場合は c をマークせよ。

C. (M79) 図イの左手は小脳の障害による筋緊張の低下を呈するが、左右どちらの小脳半球に障害が生じていると予想できるか。右半球の場合は a、左半球の場合は、b、両半球の障害によって出現する場合は c をマークせよ。